



# AIDS UPDATE



広島大学病院 エイズ医療対策室 内線5351  
中四国エイズセンターホームページ URL:<https://www.aids-chushi.or.jp>

NEWS

## HIV/エイズ最近の話題



エイズ医療対策室 室長 藤井輝久

皆様、エイズ医療対策室長の藤井です。さて、ここ3年間の感染症に関する最大の関心事は、言うまでもなく“新型コロナウイルス感染症(COVID-19)”でしょう。感染拡大防止のための外出自粛や、マスク着用などで我々を苦しめました。また保健所はその対応に追われ、多くの保健所でHIV感染症の検査が閉鎖されました。この間、HIV感染者・エイズ患者の報告数は、コロナ前と比較して約25%減となりました。保健所における無料匿名検査の閉鎖により、検査機会を奪われたことが主な原因と考えられます。つまり、“割をくった”わけです。

一方で、梅毒の感染が拡大している、といったニュースを耳にされるかと思えます。梅毒もHIV感染症と同じ性行為感染症ですから、HIV感染が現実的に減っているとは、にわかには信じがたいです。我々医療者は、このような状況の中、「(梅毒などの)性行為感染症を診たら、HIVも共感染していないか?」と疑う目を持つべきだと思います。

日本エイズ学会や、国際レトロウイルス感染症会議(CROI)でのトピックスは、PrEP(Pre-Exposure Prophylaxis:曝露前感染予防)です。HIV感染の最大の予防策は性行為時のコンドームの着用ですが、やはり全員、全例着用できるなんてことは夢物語で

す。着用しなくても感染リスクは1回あたり0.3%ですが、感染が最初の性行為で起きるか、300回目で起きるかは分かりません。

そのため、欧米各国では性行為前に抗HIV薬をあらかじめ服用する予防法がとられているのです。日本エイズ学会の理事長以下理事の先生方は、日本にも導入しよう(保険収載)と躍起になっていますが、なかなかそれは難しいと考えています。その理由は、我が国では予防はあくまで医療保険とは別、という考えが根底にあり、ごくわずかな薬剤しか「予防」として保険承認されていません。HIV感染症は、日本ではまだまだマイナーな疾患であり、国がそれに対して承認を出すのは現実的にはないだろうと思っています。

また、PrEPが承認されている欧米では、HIV新規感染は抑えることができても、一方で他の性行為感染症が増えることを危惧している専門家もいます。確かに多くの論文でそれを支持しているデータが発表されています。梅毒が増加している日本、ますますPrEP導入の道は険しくなった、と言うべきでしょう。



### 中四国エイズセンターのホームページリニューアル!

TOPページは、瀬戸内海をイメージ!! 中国地方と四国地方をつなぐしまなみ海道のように、ブロック拠点病院が力を合わせて、各県の中核拠点と拠点病院の要となり、連携していくさまをイメージしています。ぜひ一度、ホームページにお立ち寄りくださいませ。

また、当センターのイメージキャラクターとなった「**ACT(あくど)くん**」も誕生!

\*AIDS Care Teamの頭文字を取った、白鳩です。可愛がってください♪



# 認定薬剤師・専門薬剤師についてご紹介します

薬剤部 HIV感染症薬物療法認定薬剤師 藤井健司

HIV感染症の領域にはHIV感染症専門薬剤師とHIV感染症薬物療法認定薬剤師という資格があります。共に日本病院薬剤師会が認定する資格です。HIV感染症治療における薬物療法に関する高度な知識、技術、倫理観を備え、患者の意思を尊重し、最適な治療に貢献することを理念とし、HIV感染症に対する薬物療法を有効かつ安全に行うことを目的としています。

当院にはHIV感染症薬物療法認定薬剤師に藤井健司、HIV感染症専門薬剤師に石井聡一郎がいます。

また、当院はHIV感染症薬物療法認定薬剤師養成研修施設に認定されており、認定資格を取得するための研修を実施しています。認定資格の取得を目指す薬剤師が来院し、2日間にわたり講義や症例検討、チームカンファレンスを見学したりします。私たちが講義を行うことで、HIV感染症に対する知識をアップデートしています。さらに、受講した薬剤師と情報交換することで、お互いの知見を増やしています。

●HIV診療チームの薬剤師の業務を紹介します。

【患者への服薬支援】

ART開始時や変更時、患者からの相談があるとき等の面談

【医療者への情報提供】

適切な薬剤選択、相互作用、TDM(薬物血中濃度モニタリング)等

【多職種での情報共有】

外来カンファレンスに参加し、患者さんについてのディスカッション

【多職種からの相談応需】

多職種の患者面談時に生じた薬剤に関する疑問等への対応(他院でもらった薬やサプリメントの開始可否等)

【他の医療施設(保険薬局等)との情報共有・連携】

薬剤変更時等に直接電話、カンファレンスでの情報共有

【研修会の開催】

「認定薬剤師養成研修」や「薬剤師のための抗HIV薬服薬指導研修会」の開催(毎年)



薬のことで困ったことがあれば、  
何でもご相談ください。



## 包括的HIVカウンセリング研修会@広島のご報告

エイズ医療対策室 公認心理師 杉本悠貴恵

昨年度、「包括的HIVカウンセリング研修会」を開催したのでご報告いたします。本研修会は、中国四国ブロックのHIV診療を行っている多職種で編成されたチームにご参加いただき、症例検討形式の研修スタイルを長年続けています。

今回、約3年ぶりに集合形式で開催をすることができました。集合形式を再開して、本当にご参加いただけるだろうか…と不安もありましたが、約35名の方がご参加くださり、2つの症例についてディスカッションすることができました。コロナ禍で久しぶりに皆様とお会いしたのですが、どのチームの皆様も結束力が一層パワーアップしているのを感じ、私たちも頑張らなければ！と力をもらいました。



また、今回は小倉記念病院精神科医の三木浩司先生をお招きし、精神科領域の立場からの基調講演と症例検討に対するコメントをいただきました。私自身、時に対応に迷う患者さんや支援の方向性を見直す必要を感じることがあります。よりよく過ごせるためにできることを第一に心理職としてできることを模索することもあります。これからの臨床に生かせるヒントをたくさんいただくことができ、とても充実した1日となりました。

ご参加くださった皆様、スタッフの皆様、そして講師の先生、本当にありがとうございました。詳細は中四国エイズセンターのブログにも記載しておりますのでそちらもご覧いただくと嬉しいです★

NEWS

### 通院/受診継続支援アプリ「せるまね」が、リニューアル！！

この度、これまでの機能をさらにパワーアップさせて、最新の抗HIV薬である、注射薬剤『ボカブリア+リカムビス水懸筋注』をご利用の患者さんにも対応できるようになりました。今回の新薬は、1回の注射投与で、最長で2か月間も体内でHIVウイルスを抑制する効果があります。但し、決められた期間に、次回の注射を投与しなければならないので、次回受診日の管理は厳守です。アプリではカレンダーを色付けして受診可能期間をご案内しています。

せるまね





## 新HIV診療チームのご紹介

HIV診療チームは、医師（血液内科・総合診療科・感染症科・歯科）・看護師・薬剤師・歯科衛生士・臨床心理士・ソーシャルワーカー等で構成された、HIV感染症患者さんのための支援チームです。

毎週火曜日16:15～17:00に、多職種が参加して『HIV外来ミーティング』を開催しています。身体的、精神的、そして社会的な問題を抱える患者さんの現状を共有し、今後の支援方法を検討しています。また、毎年開催される、広島県臨床心理士会が主催する「包括的HIVカウンセリング研修会」にチームで参加して、研鑽を積んでいます。



広島大学病院2023年度HIV診療チーム

血液内科 医師 といしがわ かよ 土石川 佳世



2023年4月より、広島大学病院輸血部に配属となりました土石川佳世と申します。広島県三原市出身、大学では広島を離れましたが、就職を機に再び広島に戻ってきましたので、人生のほぼすべてを広島で過ごしております。

簡単な経歴です。2012年から初期研修医期間とレジデント期間を広島赤十字・原爆病院で血液内科に従事しました。2016年から3年間は広島大学病院血液内科に所属し、引き続き血液悪性腫瘍を中心の診療を行っていました。2019年から本年までは大学院で学業(主にゲノム編集技術を用いたゲノム改変TCR-T細胞の作出について)に専念させて頂きました。

今年からは大学院との両立になりますが、新しくHIV診療に関わらせて頂きます。今までHIV診療といえば、HIV関連悪性リンパ腫の患者さんとの関わりだけでしたので、HIV診療の経験はとても乏しいです。これから、皆様のサポートを得ながら、一から勉強させて頂きますので、何卒、宜しくお願い申し上げます。

薬剤師 あまの りさ 薬剤師 天野 莉沙



2023年4月より、HIV診療チームに加わりました薬剤師の天野莉沙です。HIV診療に関わるのは初めてで、まだまだ頼りないですが、少しでも早く皆様のお役に立てる薬剤師となれるよう自己研鑽していきたい

と思います。早速カンファレンスでは、薬剤の内服状況が患者さんの治療、状態に大きく影響していることを再認識させられました。

また、患者さんの心理社会的な側面が内服アドヒアランスに影響を与えていることも知りました。今までの病棟業務経験を活かして、これから患者さんにチームとして関わっていけることを楽しみにしています。

趣味は登山で、地元福岡に帰ってはどこの山に登っています。体は痛いですが変わりゆく景色や頂上で食べるおにぎりは最高です。中国、四国でおすすめの山がありましたら教えてください。どうぞよろしくお願いいたします。



# 令和5年度中国四国ブロックHIV研修会・会議スケジュール

お問い合わせ：広島大学病院エイズ医療対策室・広島県臨床心理士会

TEL&FAX：082-257-5351(直通)

中四国エイズセンターホームページ：<http://www.aids-chushi.or.jp/>

詳しい研修会・会議のご案内は中四国エイズセンターホームページをご覧ください。



作成日：令和5年4月13日

事務局：広島大学病院エイズ医療対策室

<b>医師</b> <small>日本エイズ学会 認定研修会</small>	令和5年8月21日(月)・22日(火) 会場：広島大学病院(広島市) 2023年度中国四国地方エイズ診療医師のための研修会(1回目)
	令和5年9月25日(月)・26日(火) 会場：広島大学病院(広島市) 2023年度中国四国地方エイズ診療医師のための研修会(2回目)
<b>歯科医師 歯科衛生士</b>	令和5年10月22日(日) 会場：岡山国際交流センター(岡山市) 第14回中国四国地方HIV陽性者の歯科診療体制構築のための研究会議
	令和5年11月19日(日) 会場：グリーンヒルホテル尾道(尾道市) 令和5年度広島県歯科医師会の会員・準会員のためのHIV感染症に関する講習会
<b>薬剤師</b> <small>日本病院薬剤師会 認定研修会</small>	令和5年7月29日(土)・30日(日) 会場：広島市文化交流会館(広島市) 第42回薬剤師のための抗HIV薬服薬指導研修会 ※カウンセラー研修会と同時開催
<b>看護師</b> <small>日本エイズ学会 認定研修会</small>	令和5年6月22日(木)・23日(金) 会場：広島大学病院(広島市) 2023年度 第1回看護師のためのエイズ診療従事者研修
	令和5年7月27日(木)・28日(金) 会場：広島大学病院(広島市) 2023年度 第2回看護師のためのエイズ診療従事者研修
	令和5年10月28日(土) オンライン 2023年度看護師のためのエイズ診療従事者研修 事例検討会
	令和5年10月28日(土) オンライン 令和5年度中国・四国ブロックエイズ治療ブロック/中核拠点病院看護担当者会議
<b>ソーシャル ワーカー</b>	令和5年8月26日(土)・27日(日) 会場：岡山コンベンションセンター(岡山市) 令和5年度HIV/AIDSソーシャルワーカー・ネットワーク会議、研修会

事務局：広島県臨床心理士会(広島大学病院エイズ医療対策室内)

<b>心理職 福祉職</b>	令和5年7月29日(土)・30日(日) 会場：広島市文化交流会館(広島市) 令和5年度第1回HIV/AIDS専門カウンセラー研修会 ※薬剤師研修会と同時開催
<b>心理職</b>	日程：未定 会場：未定 令和5年度第2回HIV/AIDS専門カウンセラー研修会
	日程：未定 会場：未定 令和5年度中国四国ブロックエイズ治療中核拠点病院 HIVカウンセラー連絡会議
<b>医師、保健師 心理職など</b>	日程：未定 会場：未定 令和5年度HIV抗体検査相談従事者のためのカウンセリング研修会
<b>全職種</b> <small>日本エイズ学会・ 日本病院薬剤師会 認定研修会</small>	令和5年11月4日(土)・5日(日) 会場：KDDI 維新ホール(山口市) 令和5年度包括的HIVカウンセリング研修会